

台風による水害を経験して

台風の水害を受けて一年がたちました。台風は大型で、私達に大きな被害を齎もたらしました。そんな水害を受けた日々を私は、はつきり覚えていきます。その日は、昼頃から雨が降りだし、夕方には溝や田んぼが水でいっぱいになりました。でも、こういう事は何回もあつたのでそんなに心配はしませんでした。夜になり、雨が激しく降り、辺りは水びたしになりました。父が心配して祖父に電話した

ら、大丈夫だと言っていたので安心しました。次の日、祖父の家に行ってみると道路一面に雪が降り積ったみたいで泥が積っていました。くりしました。祖父の家は床下浸水で玄関などが泥まみれでした。私達は、泥を取る作業から始めました。泥はすごく重たくて何回も運んでいると腰が痛くなりました。たくさん量の泥を取り終るまで時間がかかりました。だいたい泥が取れて水で流そうと思つたら水は止まっていたのでなかなか作業は進み

ませんでした。給水車が何度か来ていたので、水を持ちいに行きました。水が出なくなるまで大変だとは思いませんでした。休憩している時、テレビをつけると出石町や豊岡市が映っていました。本当にひどい事になっていて驚きました。被害のすごさに気付き台風の威力を改めて感じました。

その後、何日か学校が休みとなり毎日、掃除の日々が続きました。水も出るようになりやるときれいになりました。祖父の家はだい

ぶ片がきました。が周りの家はまだまだでした。私達は、近くのお寺の片づけも手伝いに行きました。お寺は床上浸水で家具などのほとんどの物が使えなくなっていました。みんなが普通の生活に戻るまでどれだけ時間がかかるんだらうと不安になりました。日高町の被害は多くあり、一年たつた今でも作業をしている所もあります。この水害を経験し、普通に暮らせる事がどんなにすごいか実感しました。これからは、水害に備えて生活したいです。